

ブロック研究「研究の概要」作成について

ブロック研究成果「研究の概要」は『保育士養成研究所報告書』に掲載をいたします。つきましては、下記の要領で作成、提出をしてください。

1 「研究の概要」原稿の体裁等

- ① 余白 上 30mm、下 25mm、左右 22mm、ヘッダー・フッターともに 10mm
- ② 1 頁の文字数 44 字×43 行（厳守）
- ③ 本文は MS 明朝 10.5pt、英数字は Century10.5pt 全て半角、「()」は全角とします。
- ④ 文末は、常体（「だ」「である」）に統一してください。
- ⑤ A4 版片面印刷で 4 頁以内にまとめてください。

2 題名、副題

いずれも MS ゴシック 11pt

3 研究者名（所属）

- ① 最上段左に代表研究者名（所属）を MS 明朝 9pt にて表記してください。
- ② 共同研究者名（所属）は MS 明朝 9pt にて表記してください。
- ③ 1 行に 2 名ずつ、線なし表（テーブル）にて表内を左揃え、表は中央揃えで表記してください。
- ④ 研究者の所属は令和 8 年 3 月 31 日現在

4 見出し、小見出し

- ① 本文中の見出しは、「Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．」MS ゴシック 10.5pt 全角で左寄せとします。
見出しと本文の間は 1 行空けてください。
- ② 小見出しは、「1． 2． 3．」、「(1)、(2)、(3)」、「①、②、③」、「ア、イ、ウ」の順で番号を付してください。
第 1 小見出し「1． 2． 3．」は MS ゴシック 10.5pt 全角で、第 2 小見出し以降は MS 明朝 10.5pt 全角で、左寄せとします。小見出しと本文の間は詰めてください。

5 図表

- ① 図表の表題は、「図」と「表」に分けず、「図表」として通し番号を振ることとします。
- ② 図表の表題フォントは MS 明朝、英数字は Century 共に 9 ポイント、英数字は半角とします。
- ③ 表題は、「表」の場合は上に、「図」の場合は「下」に、中央揃えで記載してください。
- ④ 図表内のフォントは MS 明朝、英数字は Century 半角で、文字サイズは任意とします。
- ⑤ 図表の元データは報告書原稿と一緒に必ずご提出下さい。

※編集作業で調整するために元データが必要となります。

例 1

図表1-1-1. 表題 (MS明朝、英数字はCentury共に9ptで記入。)

例 2



図表1-1-2. 表題 (MS明朝、英数字はCentury共に9ptで記入。)

⑥ 図表内のフォントは MS 明朝、英数字は Century 半角で、文字サイズは任意とします。

⑦ 図表の元データは報告書原稿と一緒に必ずご提出下さい。

※編集作業で調整するために元データが必要となります。

6 注、引用文献、参考文献

① フォントは MS 明朝 9pt、英数字は Century 半角 9pt で、「()」は全角とします。

② 注、引用文献はそれぞれ通し番号を付け、各部の本文の最後に記載して下さい。

③ 「注」は、本文中の該当箇所の右肩に、^{注1)}、^{注2)} の番号を付して記載して下さい。

④ 「引用文献」は、本文中の該当箇所の右肩に、¹⁾、²⁾ の番号を付して記載して下さい。

- 雑誌の場合： 著者名 (発行年)，論文題名，『誌名』，巻数 (号数)，頁。

例：1) 吉田和人 (2002)，「幼児のボールキック運動の特徴」，『保育学研究』，40 (2)，pp.50-51

- 単行本の場合：著者 [あるいは編者名] (発行年)，『書名』，発行所，頁。

例：2) 高濱裕子 (2001)，『保育者としての成長プロセス-幼児と野関係を視点とした長期的・短期的発達』，風間書房，p.75.

- 複数の著者によって書かれた単行本の特定部分を引用する場合：章・節の著者名 (発行年)，章・節のタイトル，本の著者 [あるいは編者名]，書名，発行所，頁。

例：3) 野口啓示 (2018)，「現代社会における社会的養護の意義」，伊藤嘉余子・福田公教編著，『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉5 社会的養護』，ミネルヴァ書房，p16.

- 政府刊行物等の引用は、“編集機関名 (出版年) 書名、出版社。” の順で記載。

例：4) 厚生労働省 (2018) 平成 30 年度版厚生労働白書。

- ウェブページからの引用は、“機関名、ページのタイトル URL (閲覧日)” の順で記載。

例：5) 内閣府 子ども子育て本部について
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/about.html> (2018 年 12 月 8 日閲覧)

⑤ 「参考文献」は、筆頭著者のアルファベット順に記載する。

例：繁杵算男・柳井晴夫・森敏昭 (1999)，Q&A で知る統計データ解析-DSs and DON'Ts-，サイエンス社